

ギリシャ概況(2020年1月号)

1. 内政

- ・15日 移民・庇護省が新設され、ミタラキス労働・社会省政務官(社会保障担当大臣)が同省大臣に、クムツァコス市民保護省副大臣(移民政策担当大臣)が副大臣に就任した。
- ・22日 国会にて、カテリナ・サケラロプル最高行政裁判所長官が次期大統領に選出された。出席議員294名のうち、ND(157名)、SYRIZA(82名)及びKINAL(22名)が賛成票を投じた(計261票)。
- ・30日 国会にて、ギリシャ・米国相互防衛協力協定が批准された。

2. 外政

- ・2日 ミツォタキス首相、アナスタシアデス・キプロス大統領及びネタニヤフ・イスラエル首相は、東地中海天然ガスパイプライン建設に向けた三国間合意に署名した。
- ・5~8日 ミツォタキス首相は米国を訪問し、トランプ米大統領と会談した。また、ゲオルギエバ IMF 専務理事と会談し、経済危機に対応するためアテネに設置された IMF 事務所を閉鎖することで合意した。
- ・8日 デンディアス外相がカイロを訪問し、エジプト、キプロス、仏、伊との外相会談を行った。
- ・16日 マクロン・仏大統領が、仏航空母艦「シャルル・ド・ゴール」の東地中海でのミッションにおいてギリシャ海軍も護衛の一翼を担うと発表した。
- ・17日 ハフタル・リビア総司令官がアテネを訪問し、デンディアス外相及びミツォタキス首相とそれぞれ会談を行った。
- ・24日 デンディアス外相は、サウジアラビアを訪問し、アルサウド外相と会談を行った。

3. 移民・難民問題

- ・1月には陸路でギリシャに到着した移民・難民の数は850名、エーゲ海島嶼部に到着した者の数は3,150名となった。
- ・1月31日現在、ギリシャに滞在する移民・難民は115,600名。うち、41,200名が島嶼部に、74,400名が本土に滞在している。(UNHCR 発表)

4. 経済

(1) 経済動向

- ・8日 ブルガ・トランスガス(Bulgartransgaz)は、ギリシャ、ガストレード(Gastrade)の4番目の株主となった。また両者は、アレクサンドルポリのFSRU(浮体式貯蔵再ガス化

設備)のプロジェクトにBulgartransgazが20%出資することで合意した。

・9日 欧州安定メカニズム(ESM)は、ギリシャ債務の一部のstep up marginの廃止を決定した。これにより、1億2,215万ユーロの軽減となる。

・14日 ギリシャ銀行協会によれば、カツェリ法令(個人破産者の居住住宅競売の制限)の適用申請数は5万8,000件。個人破産者の居住住宅競売の制限に関する法令は改定される見込みで、現行のカツェリ法は4月末までの適用となる。

・18日 ギリシャ統計局は、2017年地域別GDPを発表した。上位5地域は以下のとおり。

アッティカ 749億8,100万ユーロ

中央マケドニア 216億2,400万ユーロ

テサリア 81億7,000万ユーロ

クレタ島 79億5,000万ユーロ

中央ギリシャ 73億9,000万ユーロ

・28日 ギリシャ公的債務管理庁(PDMA)が15年物国債を発行した。188億ユーロに上る申し込みがあり、目標調達額25億ユーロを達成し、利回りは1.91%となった。

(2) 財政

ギリシャ財務省が2月28日付けで公表した2020年1月の財政統計によると、1月の財政収支は7億6800万ユーロの赤字、同期間のプライマリーバランスは4億9,500万ユーロの黒字となった。同期間の歳入は39億1,300万ユーロで政府目標を7億4500万ユーロ下回り、歳出は46億8,100万ユーロと政府目標を2億3,200万ユーロ超過した。

(3) 輸出入

ギリシャ統計局の2月7日付の発表によると、12月の輸入総額は44億2,270万ユーロ(前年同月比3.6%増)、輸出総額は28億6,880万ユーロ(前年同月比10.7%減)となった。

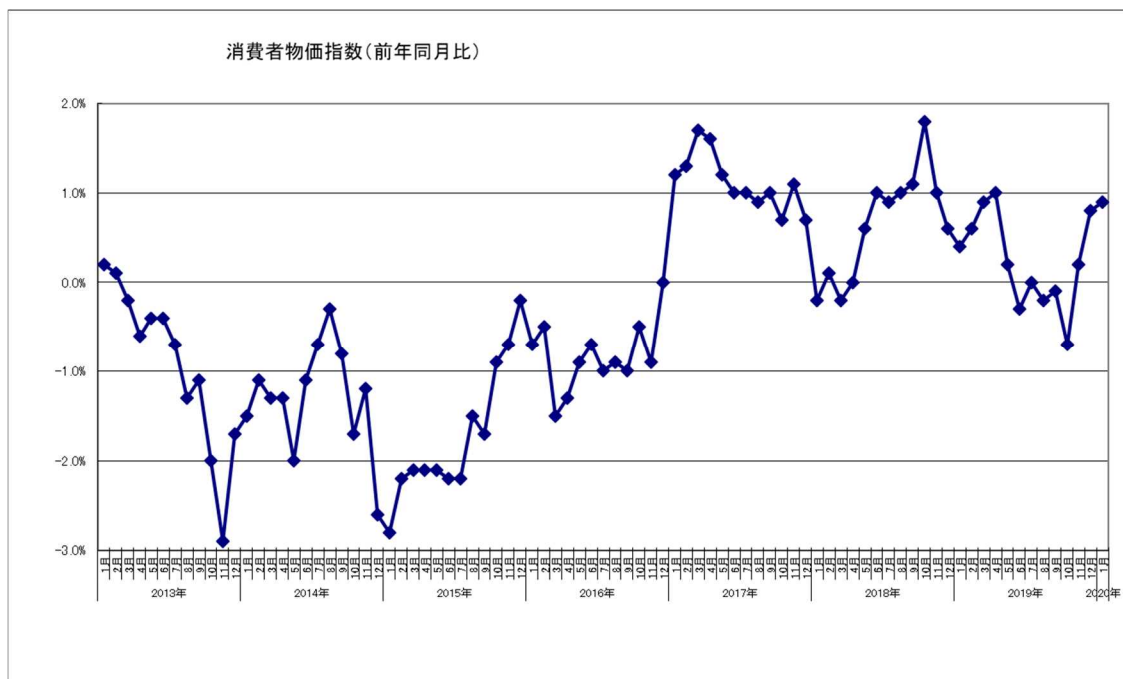
(4) 観光業

ギリシャ観光業協会(SETE)の発表によると、10月の観光客は168万1,405人で前年同月比は5.7%増となった(国内主要空港の観光客到着数)。内訳は、アテネ国際空港が56万3,580人(同9.6%増)、テサロニキ空港が19万8,624人(同13.8%増)となった。

5. 経済指標

(1) 消費者物価指数

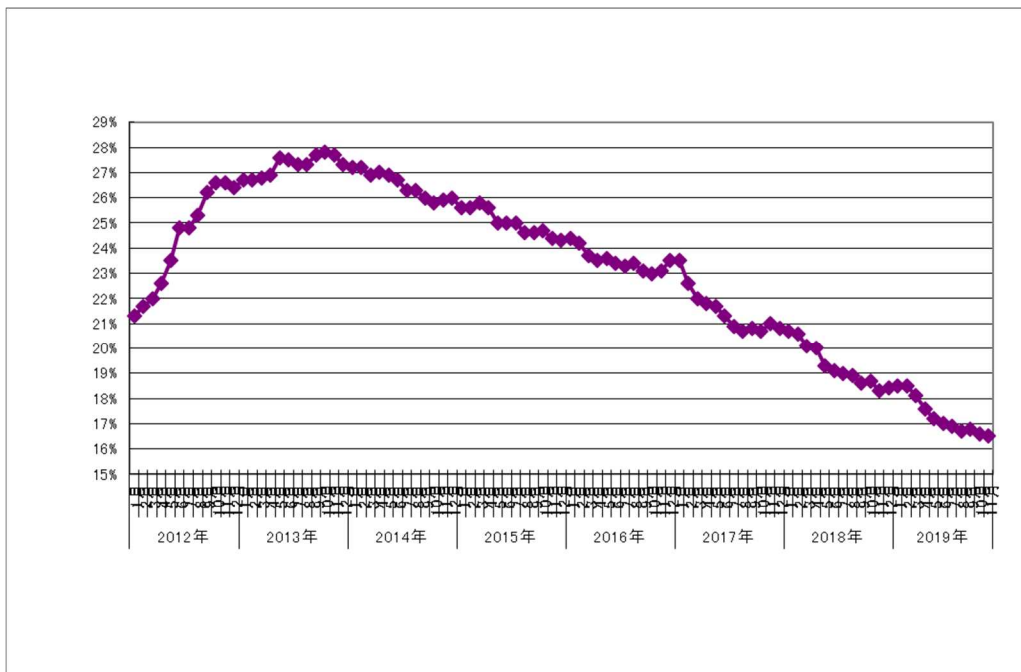
ギリシャ統計局の2月14日付の発表によると、1月の消費者物価指数は前年同月比0.9%増となった。



(出典:ギリシャ統計局)

(2) 失業率

ギリシャ統計局の2月6日付の発表によると、11月の失業率は16.5%となり、前月から0.1%減少した。



(出典:ギリシャ統計局)

(3) GDP

OECDのデータによると、2019年第3四半期(7月~9月)の実質GDP成長率は前年同期比プラス0.6%となった。



※この概況は各種報道・公表資料を基に作成した。

(了)